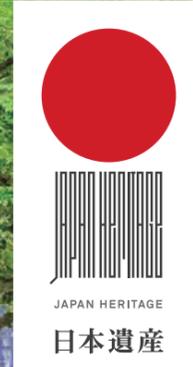


荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間

北前船寄港地・船主集落

KITAMAE-BUNE
北前船



西国
三十三所

姫路の 日本遺産

JAPAN HERITAGE IN HIMEJI

一攫千金の夢物語「北前船」

姫路藩の外港の一つとして、姫路市の野田川河口に開けた飾磨津は、『万葉集』にも記される古くからの海運の要衝で、江戸時代になると瀬戸内海の往来船や北前船の寄港地として発展しました。飾磨街道の道沿いに、往時の繁栄を物語る回船問屋の屋敷や土蔵のある街並みが続きます。古着商の馬場家、海産物商の中島家には商取引に係わる文書や酒田の本問家との書簡が伝えられ、多くの取引が行われたことを示すとともに、遠く離れた庄内地方とのつながりを今に伝えています。



北前船とは大阪と北海道を結んだ経済動脈

- ① 江戸時代中期(18世紀中ごろ)～明治30年代
 - ② 大阪と北海道を、日本海回り
 - ③ 商品を売り買いしながら結んでいた商船群
- 北前船は、そういう動きをしていた商船を総称する呼び名です。

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。



銀の馬車道
鉦石の道

北前船



お問い合わせ：姫路市文化財課 TEL.079-221-2786

発行：姫路市観光課

観光に関するお問い合わせは、観光ナビポート [ひめのみち](#) で検索 TEL.079-287-0003

2023年1月

1300年つづく 日本の終活の旅

～西国三十三所観音巡礼～



西国三十三所

～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～

播但貫く、 銀の馬車道 鉦石の道



銀の馬車道・鉦石の道

書寫山 圓教寺

西国三十三所 第27番札所

康保3年(966年)、性空上人によって開かれました。

西の比叡山とも呼ばれ、多くの僧侶の修行の場として栄えた伽藍は、凜とした空気に包まれています。懸造りの摩尼殿やかつて修行僧が寝食を行った食堂など、威厳ある建造物を眺めると、おのずと心が引き締まります。

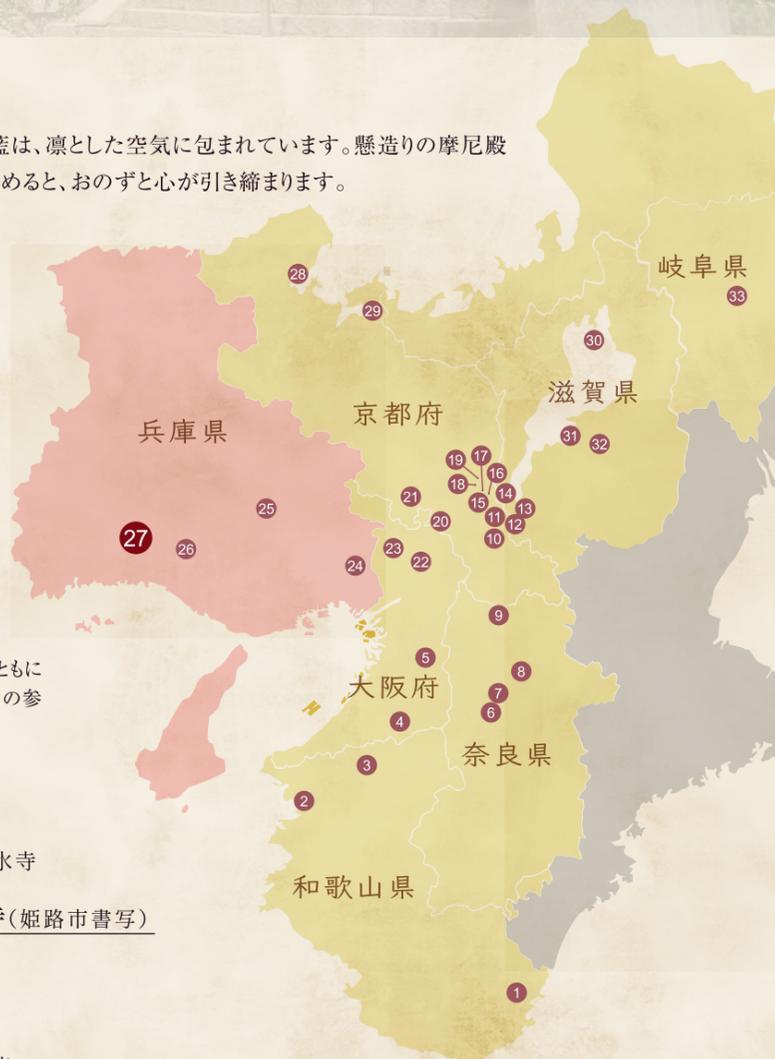


西国三十三所

全国に600コース以上あると言われる札所巡りの中で、西国三十三所観音巡礼は約1300年の歴史を持つ日本最古の巡礼路です。総距離は約1000kmに及び、大阪・京都・兵庫・奈良・和歌山・滋賀・岐阜と2府5県を包括するように伸びています。

当初、僧侶や修験者の厳しい修行だった西国三十三所巡礼は、時代とともにルートが整備されて庶民にも広まり、江戸時代には伊勢神宮や熊野三山の参拝とも結びつくことで人気となりました。

- | | | |
|------------|------------|---------------|
| 1 青岸渡寺 | 12 正法寺 | 23 勝尾寺 |
| 2 金剛宝寺 | 13 石山寺 | 24 中山寺 |
| 3 粉河寺 | 14 三井寺 | 25 播州清水寺 |
| 4 施福寺 | 15 今熊野観音寺 | 26 一乗寺 |
| 5 葛井寺 | 16 清水寺 | 27 圓教寺(姫路市書写) |
| 6 南法華寺 | 17 六波羅蜜寺 | 28 成相寺 |
| 7 岡寺 | 18 六角堂 頂法寺 | 29 松尾寺 |
| 8 長谷寺 | 19 草堂 行願寺 | 30 宝厳寺 |
| 9 南円堂 | 20 善峯寺 | 31 長命寺 |
| 10 三室戸寺 | 21 穴太寺 | 32 観音正寺 |
| 11 上醍醐 准胝堂 | 22 総持寺 | 33 華厳寺 |



お問い合わせ：書寫山 圓教寺 TEL.079-266-3327

2 飾磨津物揚場跡

銀の馬車道の発着点で、生野鉦山の物資を専用に扱う貨物港でした。馬車道に伴って造られ、レンガ製倉庫や港湾護岸が残ります。



3 馬車道修築碑

明治9年(1876)の銀の馬車道完成を記念して建てられました。道を作る経緯や意義、経過が記され、困難であった工事の様子が克明にわかります。



鉦山が生んだ南北73kmの道

兵庫県中央部の播但地域、日本屈指の鉦山群から姫路・飾磨港までを南北に1直線に貫く73kmの道です。明治時代に国家の未来を託し切り拓いた国内初の舗装された産業道路は、鉦石を乗せた馬車や人々が行き交い、経済、技術、文化発展の礎となり日本を近代化へと牽引しました。当時の熱き志と息遣い、そして現在へと繋がれた歴史の轍は日本遺産に認定され、さらなる未来へと繋がっています。馬車復活事業をはじめ、様々なイベントを通じ、今もこの道は人々を引きつけています。



お問い合わせ：姫路市地方創生室 TEL.079-221-2833